



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

9月号

令和5年9月26日発行

文責：荻島 禎幸

緑流祭に向けて始動！

2学期に入り、緑流祭に向けての活動や練習が始まりました。クラスや縦割りの仲間と一致団結し、素晴らしい合唱や競技・演技をみせてくれることでしょう。成功のカギはそれまでの練習と緑流祭を支える係や担当などの仕事。「準備8割」という言葉をよく耳にします。本番で成功するかどうかの8割は準備ができていのかどうかにかかっています。リーダーとなる生徒を中心に、一丸となって取り組んでいけることを期待しています。



体育の部実行委員長

緑流祭が終わった後に、一人一人の生徒が精神的にも成長できるように願っています。中伊豆中としての緑流祭はあと2回です。全力で楽しむように頑張りましょう。

学年の合唱をぶつけ合って、今までで一番良い合唱にしてください。この体育館全体に、素晴らしい歌声が響くよう、また悔いが残らないよう、最高の緑流祭にしましょう。



文化の部実行委員長

スローガン

中伊豆の歴史を変える1ページ 協力プレーで絆を超える



ヒーローカン・シンホールマーク
実行委員長

今年のはじめてクラスを二つに分けて行う縦割りでの体育の部、そして学年がひとつになって歌う文化の部をイメージしてつくりました。



緑流祭
シンボルマーク

緑流祭において…



◀ 種目説明会
タブレットを使って競技の説明を行いました。



◀ 合唱練習
◀ 緑流祭決起集会
響き合う声、勝利を目指して一致団結！
めざせ最優秀賞！優勝！！

総合的な学習の時間

講師の方をお招きし、貴重なお話を伺いました



3年生：減災セミナー（日本赤十字）
～身近な物で自分の命を守る～



2年生：職業講話（料理人・看護師・イラストレーター・保育士）
～「働く」とはどんなことか～



10 月行事予定

	曜	給食	部活	学校行事等 <small>※予定は変更する場合があります。</small>
1	日			*こども園運動会予備日
2	月	◎	×	3年生進路説明会
3	火	◎	○	
4	水	◎	×	体育の部総練習
5	木	◎	○	総練習予備日 緑流祭係会 校納金引落日
6	金	◎	×	緑流祭前日準備 
7	土	弁当	×	緑流祭
8	日			緑流祭予備日①
9	月			スポーツの日
10	火	◎	○	緑流祭予備日②
11	水	◎	×	PTA 連絡協議会「家庭教育研修会」
12	木	弁当	×	合唱交流会（天城中） 
13	金	◎	○	
14	土			*八幡区祭典 
15	日			
16	月	◎	×	2年生職場体験事前訪問 3年生地域まちおこし隊講話
17	火	◎	×	専門委員会
18	水	◎	×	
19	木	◎	○	
20	金	◎	×	下校 14:45*
21	土			*中伊豆小運動会
22	日			
23	月			代休（緑流祭） *7日または8日に実施の場合
24	火	◎	○	生徒会役員任命式
25	水	◎	×	
26	木	◎	○	
27	金	◎	○	
28	土			
29	日			
30	月	◎	×	チャレンジテスト（数学） 専門委員会
31	火	弁当	×	3年生金融講座 2年生職場体験 1年生認知症サポーター養成講座

*先日配布しました月行事予定表では、10/20の下校時刻を15:45とお伝えしましたが14:45となります。ご了承ください。

9/12 環境委員会集会より

～アルミ缶、ペットボトルキャップ回収へのご協力を～

環境委員会では、アルミ缶とペットボトルキャップの回収を行っています。集めたペットボトルキャップは、回収業者に寄贈されます。そこから、世界のワクチン不足で困っている子供たちに役立ててもらっているのです。

世界では、20秒に一人の子供がワクチン不足で亡くなっています。医療が整っている日本では考えられないことです。小児麻痺を防ぐためのワクチンを1人分提供するには、リサイクル資源としてペットボトルキャップ800個が必要です。中伊豆中では4月から集めたペットボトルキャップが7429個あります。これで9人の子供の命が救われるのです。これからも毎週木曜日の朝、回収活動を行っていますので、ご協力をお願いします。

9.1 防災訓練

9月1日は「防災の日」。今年は関東大震災からちょうど100年目にあたるということで、テレビ等でも改めて備えの大切さを伝えていました。本校でもこの日、地震を想定した避難訓練が行われました。生徒は経路に従って速やかに避難していました。非常の際にも、考えた行動がとれるようにしたいものです。



田方地区英語弁論大会

9月6日（水）大仁くぬぎ会館にて、田方地区英語弁論大会が開催されました。本校からは、2名の代表生徒が参加し、練習の成果を発揮し堂々とスピーチすることができました。他校の生徒の表現を聞き合うことで、英語の楽しさを実感したようです。

